

岐阜県セラミックス研究所  
〒507-0811 多治見市星ヶ台3-11  
Tel. 0572-22-5381 / Fax. 0572-25-1163

### 当所 OB 加藤孝造氏が人間国宝に

陶芸家・加藤孝造氏(元岐阜県陶磁器試験場職員)が「瀬戸黒」の技法で国の重要無形文化財(人間国宝)に認定されました。瀬戸黒は、桃山の陶工たちが生み出した新しい独創的な焼き物です。昼夜を分かたずに薪をくべた白熱の窯から、速やかに挟んで引き出し、冷水に浸して急冷したときに生ずる鉄釉の輝きと深みのある漆黒の釉調は人々を魅了します。小さな引き出し口から茶碗を裸のまま取り出す工程と、窯中での場所が限定されるという制約と、何よりも色見の選択が作品の決定的な要因となり、長年の経験と技術が混然一体となって生まれる焼き物です。加藤氏の瀬戸黒



は「孝造黒」ともよばれ、長年にわたって培われた経験と感性によって、桃山陶の作風と伝統を伝えながら現代感覚を加え、瀬戸黒の技術を向上させた数少ない作家の一人です。筒型茶碗を基調とし、作為の少ない作りからは、作者の人柄が感じられ、気品が漂います。

### 「ひろいやすい碗」がキッズデザイン賞を受賞

当所では、子どもや高齢者などの使いやすさを考慮した陶磁器で、破損後の片付けが容易な食器「ひろいやすい碗」の開発を行ってきました。この碗が今年度のキッズデザイン協議会においてキッズデザイン賞(ユニバーサルセーフティ部門)を受賞しました。現在さらなる改良を行っています。



#### キッズデザイン賞について

「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「創造性と未来を拓くデザイン」、「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。本制度は、キッズデザイン協議会(特定非営利活動法人)が主催・運営し、平成19年度から毎年度開催されています。

#### ユニバーサルセーフティ部門について

キッズデザイン賞の部門の1つであり、対象は一般向けも含めた子ども視点による安全・安心に関する製品、施設、サービス、研究など。



## イベントに出展しました

### 岐阜大学フェア2010(平成22年11月5~6日 岐阜大学)

「岐阜大学フェア2010」は、研究成果等のパネル展示、実験教室、模擬授業等、岐阜大学の教育研究活動を広く一般に公開するイベントです。当日は、当所が行っている「チタン酸アルミニウムを用いたアルミニウムダイカスト用部材の開発」の研究内容についてパネル展示しました。チタン酸アルミニウムは低熱膨張特性を有することから急熱急冷に耐えることができ、アルミニウム鑄造プロセスにおいて溶けたアルミニウムを運搬する部材として利用できます。今後はチタン酸アルミニウム製の部材をマイクロ波により短時間焼成することを検討しています。



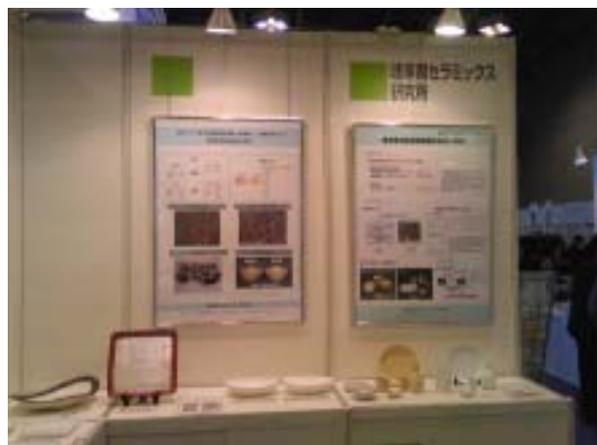
岐阜大学フェアの様子



チタン酸アルミニウム製部材

### 中部地域公設研テクノフェア2010(平成22年10月27~30日 ポートメッセなごや)

「中部地域公設研テクノフェア2010」は、中部地域の公設試験研究機関(14機関)が機関紹介、研究分野およびその成果を合同で紹介する催しです。今回は「環境・エネルギー」に関するシーズ・研究成果が「環境・エネルギーゾーン」に設置されました。当所からは、都市エリア産学官連携促進事業で行っている、リサイクル食器、軽量強化磁器・軽量磁器、酸化セリウムを用いた軽量磁器の3点に関するパネルや試作品を展示しました。来場者からは、「陶磁器がリサイクルできることは知らなかった。」「軽いから手に持ちやすい。」など意見がありました。今後さらに改良を重ねていきます。



中部地域公設研テクノフェア2010の様子

詳しいことがお聞きになりたい方は当所までお問い合わせください。